

# よりよい知立市のために 高校生が政策提案



## 趣 旨

選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高めてもらうとともに、高校生の視点から広くまちづくりについて意見を聴き協議する機会を設けること。



## 参加高校

知立高等学校  
知立東高等学校

## Step1 事前協議

知立市に求める政策、解決したい課題など、高校生の視点で問題点・課題を洗い出し、テーマを設けて、事前に議員と意見交換を行い、高校生提案として形にしていきました。



高校での事前協議の様子

## Step2 議会当日

### 第1部

事前協議を経て、高校生が調査・研究を進めていき、当日は、グループごとに発表をしてもらいました。各グループが、5つのテーマで政策提案を行いました。

### 若者・市民が集うまちづくり



**知立駅近くに  
商業施設を！**

現在ある市内大型商業施設は、駅からも距離があり、気軽に行けないのが課題。他の地域には駅から直結している所もある。更に魅力的な店舗があることで、人が集う場所ができる。そこで、知立市の名産もPRしたり、知立市の情報発信もできるのではないかな。

### 知立市マコモタケPR案



**マコモタケの  
魅力を広めたい！**

小学生の時に給食で食べたマコモタケが美味しくて記憶に残っている。しかし、周りに聞いてもほとんど知られていない。そこで、もっとマコモタケが身近になるよう、調理方法を工夫したり、販売場所を増やすなどのPRをしていきたい。

## 知立市のブランディング



**子どもが安心して  
遊べる場を！**

知立市は子どもに対する支援が充実していると思うが、子どもがのびのび遊べる場所が少ないと感じる。他の自治体では、芝生広場などがある場所もあり、知立市もそのような公園があるといい。またキッチンカーなど人を呼び込み、そこで知立市の名産もPRしていけば憩いの場ができるのではないかな。

## アワーパーク

～気軽に参加できる地域交流の場を！～



**自由に関わる事が  
できる居場所を！**

子どもの頃に参加した「ぶれーぱーく」で体験した自由に楽しめる場を作ること、参加者側にも運営側にも携わることができる。参加者側は交流の場ができ、運営側では地域への愛着が深まる効果があるのではないかな。自然に繋がりや交流が広がっていくと考える。

## 安心・安全・住みよいまちづくり



**安心して暮らせる  
まちづくりを！**

知立市の課題として、安全・駅周辺開発・子育てのテーマがあると思う。安全面では自転車乗車マナー、子育てでは道路に凹凸があり、歩行者が歩きにくくなっている場所がある等があるので、自転車マナー講習を行ったり、駅前に子育て世代が集える場所があると良い。また、「市民の声」を電子化するなど、市民の声も届きやすくしたらどうか。



発表時の様子

## 第2部

第1部での政策提案についてグループディスカッションを行いました。アドバイザーとして、法政大学土山教授にも参加して頂き、各グループの政策提案について意見交換を行いました。

意見交換後、土山教授より講評をいただき、政策提案の実現性などを検討しました。

土山教授からは、高校生の発表に対して、提案が具体的で、比較をした上での提案になっていてよかったとありました。人に説得力を与えるというのは、当事者として関われるかどうか重要との説明がありました。今回、提案してくれたものを、どう政策に結び付けるのかは、事実をもとに考え、それを踏まえて政策を考える。全ての人から賛同を得るのは難しいが、自分の意見はしっかりと主張していくことが重要であるというアドバイスをいただきました。



土山教授による講評

## 《参加した高校生の感想》

- ・具体的な案や改善策を出すことも大切だけど、実現性や優先順位を出すことも重要だと分かった。
- ・自分と全く同じ意見を持っている人がいないからこそ刺激をたくさん受けた。
- ・知立市について普段、同級生、議員と話す機会がなかったので、とても良い経験になりました。